

【表紙】

【提出書類】 臨時報告書

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成28年3月25日

【会社名】 株式会社アスラポート・ダイニング

【英訳名】 Asrapport Dining Co., Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役 中村敏夫

【本店の所在の場所】 東京都港区芝五丁目13番16号

【電話番号】 03-6311-8899

【事務連絡者氏名】 尾崎富彦

【最寄りの連絡場所】 東京都品川区西五反田一丁目3番8号

【電話番号】 03-6311-8899

【事務連絡者氏名】 尾崎富彦

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1【提出理由】

当社は、平成28年3月25日開催の取締役会において、子会社取得を行うことを決議いたしましたので、金融商品取引法第24条の5第4項並びに企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第8号の2の規定に基づき、本臨時報告書を提出するものであります。

2【報告内容】

(1) 取得対象子会社の概要

商号、本店の所在地、代表者の氏名、資本金の額、純資産の額、総資産の額及び事業の内容

商号	株式会社D S Kグループ
本店の所在地	東京都品川区西五反田一丁目3番8号
代表者の氏名	代表取締役 森下將典
資本金の額	80百万円
純資産の額	379百万円
総資産の額	852百万円
事業の内容	持株会社(「どさん子」「みそ膳」「藤平」ブランドによる、ラーメン店の直営店の運営・フランチャイズチェーン展開を行う会社の株式を保有)

最近3年間に終了した各事業年度の売上高、営業利益、経常利益及び純利益

(単位:百万円)

	平成25年3月期	平成26年3月期	平成27年3月期
売上高	2,346	2,228	2,247
営業利益	225	99	129
経常利益	221	135	145
当期純利益	396	81	93

提出会社との間の資本関係、人的関係及び取引関係

資本関係	該当事項はありません。
人的関係	当社取締役である森下將典が、株式会社D S Kグループおよびその100%子会社である株式会社どさん子の代表取締役を兼務しております。また当社代表取締役会長である檜垣周作が、株式会社どさん子の取締役を兼務しております。
取引関係	該当事項はありません。なお当社は、株式会社どさん子から、商品を仕入れております。

(2) 取得対象子会社に関する子会社取得の目的

当社は現在、焼肉、居酒屋等の外食フランチャイズを中心に全国で442店舗を展開しておりますが、平成25年度より「食のバリューチェーンを構築する」という目標を掲げて外食から生産事業への進出を果たし、多層的な付加価値を生み出すビジネスモデルの構築に取り組んでおります。また、これを実現するための4つの戦略として「既存ブランドの競争力強化と成長」、「ブランド・ポートフォリオの多様化」、「海外市場への進出」、「食品生産事業と六次産業化」への取り組みを掲げ、更なる成長を目指しております。

一方株式会社D S Kグループ(以下、「D S K」といいます)は、50年以上の歴史を有する老舗ラーメン「どさん子」などを運営する株式会社どさん子の株式を100%保有する持ち株会社であります。株式会社どさん子は「札幌ラーメンどさん子」で知られるラーメンチェーンを全国規模で展開するとともに、日本の外食業態において初めてフランチャイズシステムを導入したラーメン業界のパイオニアであります。「どさん子」チェーンは1980年代に、全国で1,200店舗を超えるなど、創業以来、順調に事業成長を果たしてきましたが、近時のラーメン業界の競争激化やフランチャイズの減少により業績が低迷してきておりました。このような状況下で平成25年12月より、H S I Gの親会社である阪神酒販株式会社を中心とする企業集団(以下、「阪神酒販グループ」といいます)の下で「どさん子リブランドプロジェクト」を開始し、「一風堂」を運営する株式会社力の源カンパニーの協力を得て、店舗内外装・味およびサービス手法を一新した新「どさん子」ブランドを開発し、平成26年より国内および海外(フランス、米国および

オーストラリア)において新「どさん子」店をオープンするなど、新たな成長を目指す段階に来ております。なお、株式会社どさん子は、当社子会社の株式会社とり鉄とコラボレーションした店舗をオーストラリアのメルボルン市に開店しております。これは1つの店舗でより幅広いカテゴリーの和食メニューを楽しみたいという、海外店舗のお客様の需要に応えたものであり、現地では好評を博しております。

当社とDSKは、阪神酒販グループ内で、HSIGを共に親会社とする兄弟会社の関係にあります。阪神酒販グループでは現在、より迅速かつ機動的な決定および効率的な業務遂行が行われるよう、グループ内再編を進めておりますが、当社の下に外食企業を集約することで、当社としては、()ポートフォリオを多様化することが出来る、()既に海外に進出しているDSKの海外店舗運営ノウハウ、人材リソースや食材調達等のインフラ等を共有でき、当社ブランドでの海外展開を促進できる、()当社グループの「食のバリューチェーン」を充実させることが出来る、というメリットを見込んでおります。また、DSKとしては、()当社の物流網を使うことで、原価の引き下げが図られる、()上場会社の直接の子会社となることで、信用力強化が図られ、積極的な新規直営店出店や店舗改装の投資が出来るようになる、さらに()本部機能の一部を当社と共有することで、本部経費の削減ができる、というメリットが見込まれます。

平成27年9月より当社、DSKおよびHSIGの三者で協議を続けてきましたが、上記のメリットが見込まれることから、この度本株式取得に至った次第であります。

(3) 取得対象子会社に関する子会社取得の対価の額

株式会社DSKグループの普通株式	730,000千円
アドバイザー費用等(概算額)	1,700千円
合計(概算額)	731,700千円